



# 組織だよ!!り 2014.5.26 NO413

健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。

## 今年10周年を迎える 河西地区にし支部総会



5/22(木)にし支部総会が西庄団地自治会館で組合員22名、理事1名、職員1名の参加で開催されました。1部の総会では渡辺支部長からは4課題では目標には届かなかったが、担い手が4人増えたことや、松源西庄店健康チェックの定着など地道な活動の成果や、支部結成10周年の節目として支部活動の活発化を訴えました。2部では3月の神戸で開催された健康づくり学会に参加した峠より「ロコモを防ぐセーフティーウォーキング」を当日の資料から、体にやさしい歩き方と、筋トレ、ストレッチを紹介しました。

## 核廃絶求め国民平和大行進和歌山市集会



5月24日(土) 2014国民平和大行進・和歌山市集会在市役所の玄関前で開かれました。200名が参加し、医療生協・民医連から組合員、職員20名が参加しました。参加した青年職員5人が平和行進アピールを読みました。集会後は、市役所からぶらくり丁へ、核兵器なくせ、ノーモアヒロシマ、ナガサキをコールしながらアピール行進を行いました。

### 2014年原水爆禁止国民平和大行進 アピール

みなさん、私たちは「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」という熱い決意を胸に原水爆禁止国民平和大行進に参加しました。今年にはビキニ被災から60年、来々が被爆70年という節目の年となります。世界は、核兵器禁止・廃絶に向けて揺るぎなく動いています。核兵器を作ることも、持つことも、使うこともすべて禁止する条約の締結へ、交渉開始を求める国々は国連加盟国の3分の2を超えます。広島・長崎への原爆投下に見られる核兵器の非人道性から、その廃絶を求める流れも強まっています。こうした流れをつくってきたのは、被爆者をはじめ、日本と世界の「核兵器のない世界」を願う人々の声と行動です。来年5月ニューヨークで開かれる核不拡散条約(NPT)再検討会議にむけて、人々の共同と連帯を広げ、このような世界の流れを、前回2010年再検討会議で合意した「核兵器のない世界の平和と安全」の達成に結びつけなければなりません。核保有国およびその同盟国には、この合意を実行する上でとりわけ大きな責任があります。自国の安全を核兵器による脅威に頼ることは、武力行使や武力の威嚇を禁じた国連憲章の精神に反し、核兵器廃絶へ向かう世界の大勢にも逆行するものです。大量破壊兵器である化学兵器の禁止条約はできて、それ以上に深刻な被害をもたらす核兵器でできないはずはありません。国連も各国政府も市民社会の役割、とりわけ被爆国である日本の運動の貢献が「核兵器のない世界」の実現にかかせないという点で一致しています。被爆国日本が果たすべき役割は、憲法9条と「非核三原則」をいかに、核兵器全面禁止・廃絶の先頭に立つことです。この立場に立つて非核平和と外交をおこなってこそ、アジアや世界の平和に貢献することができるのです。私たちは、この日本で、安倍政権がすすめる「戦争する国づくり」をやめさせ、核兵器全面禁止と非核平和日本の実現を求める声と行動をおこななければなりません。私たちは、県下で「原爆展」の開催と来年5月のNPT再検討会議にむけ、世界を変える「核兵器全面禁止のアピール」署名に取り組んでいます。皆さまがたす核兵器をなくしたいという想いを国連へ届けます。和歌山からも代表団を派遣しますので、ともに国連へ行きませんか。そして、私たちに署名を託してください。今年の県内巡行と行進には、和歌山→広島コース通し行進者として東京から五十嵐成臣さんが参加しています。それでは、みなさん！日本国民が世界に誇れる憲法9条と「非核三原則」を輝かし、非核平和の日本を実現するため、ごいっしょに歩きましょう。そして、県内平和行進に続く「原水爆禁止世界大会・広島」を成功させるようともに奮闘しましょう。

2014年5月24日  
2014年原水爆禁止国民平和大行進  
和歌山～広島コース(和歌山市)集会

## 高齢者輝きフェスタ 伊都・橋本 健康チェック



5月25日(日)伊都・橋本 高齢者輝きフェスタが行われ、健康チェックを行いました。会場は、木造校舎が国の重要文化財として指定されている高野口小学校。みんなで楽しむコーナーや地域の活動と文化交流などで、骨密度など22名の健康チェックを行いました。3人の職員が参加しました。



\_\_\_\_\_